

土木工学・建築学委員会分科会の設置について

分科会等名：IRDR 分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>災害リスク統合研究(IRDR)は国際学術会議(ISC)に設置されている災害リスク軽減(DRR)に関する国際科学プログラムであり、2008年より開始されている。同プログラムの国内委員会(IRDR-Japan)は日本学術会議内に設置されており、22期からは土木工学・建築学委員会に設置されたIRDR分科会がIRDR-Japanの任を担い、国内の災害科学及び防災・減災研究の推進、科学技術と防災実務現場との連携、国際的IRDR活動との連携を推進してきた。特に2015年に合意された仙台防災枠組の策定に当たって、科学者コミュニティとして先導的役割を担った。</p> <p>25期は、国内外において現場の関係当事者や国際学術団体、国連・国際機関、国際援助機関等との連携を深め、IRDR次期計画立案の議論の活性化及びその深化に貢献するとともに、次期IRDRの初期段階の活動を牽引する。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. IRDR科学委員会との密接な連携により、わが国のIRDRに関する学術の振興を図る。 2. 現場の関係当事者や国際学術団体、国連・国際機関、国際援助機関等との連携を深め、課題を明確化し、取り組むべき方法論を確立する。 3. IRDR次期計画立案とその初期実施段階の活動推進に貢献する。
5	設置期間	令和2年11月26日～令和5年9月30日
6	備考	